

6月保健ガイド

母子保健・予防接種 問 子ども家庭課 ☎56-0210

内容(予は要予約)	とき	対象(対は対象)
親子健康手帳交付	7日(金) 10:00 集合 25日(火) 10:00 集合	妊婦
保健センター ママパパ教室(1回目) ※定員9組	11日(火) 10:00開始～ 11:00終了予定	主に妊娠6か月頃までの初妊婦とそのパートナー
ママパパ教室(2回目) ※定員6組(平日) 9組(土日)	22日(土) 9:15受付～11:30終了	主に妊娠7か月以降の初妊婦とそのパートナー ※3日前までに予約がない場合は中止
離乳食教室	17日(月) 10:00～11:15	主に第1子(4～5か月)をもつ保護者(乳児同伴可)
妊婦訪問	訪問は予約制です。(希望者は保健センターへ連絡してください)	妊婦(訪問は妊娠中1回)
こんにちは赤ちゃん訪問	3～4か月児健診受診前	すべての赤ちゃんとその保護者
のびのび 計測日	上郷児童館 11日(火) 10:00～10:30受付	未就園児※1医師の診察はありません ※親子(母子)健康手帳・乳児の場合は バスタオル
妊産婦歯科健康診査	予約してから、市内委託医療機関で 受診してください	妊婦と産後1年未満の産婦
市内委託医療機関で予約		
予 ロタウイルス	対 1価 ワクチン 出生6～24週 5価 ワクチン 出生6～32週	
予 B型肝炎	対 生後1歳未満	
予 ヒブ、小児用肺炎球菌	対 生後2～60月に至るまで	
予 4種混合、5種混合	対 生後2～90月未満	
予 BCG	対 生後1歳未満	
予 麻しん・風しん混合(MR)	対 第1期 生後12～24月未満 第2期 小学校入学前の1年間	
予 水痘	対 生後12～36月未満	
予 日本脳炎	対 1期 生後6～90月未満、2期 9～13歳未満 救済制度により対象以外で接種可能な場合あり	
予 二種混合	対 11～13歳未満	
予 HPV 2価・4価・9価	対 小学6年生～高校1年生の女子 救済制度により対象以外で接種可能な場合あり	

成人保健・予防接種 問 健康推進課 ☎63-3300

市内委託医療機関で予約		
予 高齢者肺炎球菌	対 65歳以上66歳未満	
予 特定健康診査 がん検診(肺・胃・大腸・前立腺)	19日(水)、20日(木) 28日(金)	市国民健康保険加入者で40～74歳の人(検診によって対象制限あり)
予 集団がん検診 (肺・胃・大腸・前立腺)	10日(月)、27日(木)	市国民健康保険加入者以外で40～74歳の人(検診によって対象制限あり)
予 個別特定健康診査	10月31日までに市内委託医療機関で受診してください。※胃内視鏡検診のみ、一部医療機関で12月まで受診可。	市国民健康保険加入者で40～74歳の人 後期高齢者医療制度加入者
予 個別がん検診※ (肺・胃・大腸・前立腺)		40歳以上の人(検診によって制限あり)

その他お知らせ

納期限(7月1日)		
税 目	納 期	問合先
市・県民税	第1期	収納課 ☎56-0610
介護保険料	第2期	長寿課 ☎56-0613

口座振替の人は、納期限の日に引き落としますので、残高を確認してください。

日曜・祝日の受診は

東名古屋医師会休日急病診療所
☎0561-73-7555

診療日時	日曜・祝日・年末年始 9:00～16:30 (昼休憩1時間あり)
診療科目	内科・小児科
所 在 地	日進市蟹甲町中島22

急な病気・ケガの時は

救急医療情報センター
☎0561-82-1133

24時間365日対応可。症状に応じてその時診療できる最寄りの医療機関を案内。

愛知医科大学病院 時間外診療

救急でかかりつけ医が開いていない場合、診療を受けることができます。まず、電話で相談してください。
☎0561-62-3311(代表)

なお、時間内、時間外問わず、紹介状なしで受診する等の場合、選定療養費が必要になることがあります。詳しくは愛知医科大学病院へお問い合わせください。

まちの保健師

保健師がさまざまな場所に向かい、健康相談をお受けします。詳細は市HPへ。

ドクター から あなたへ

最近テレビで「麻疹が流行」と報道される事が多くなっています。

麻疹の症状は発熱、咳、発疹などですが、新型コロナウイルスやインフルエンザに比べて感染力も重症度も比較にならない程重篤です。江戸時代では「命定め」の病」として大流行し、2000年頃でも年間20万人以上の患者が発生していました。ワクチン接種キャンペーンにより2015年に日本は麻疹排除状態となり、その後は海外からの輸入感染となっています。コロナ禍前の2019年には年間700人以上が罹患しており、コロナのインバウンド減少により激減しておりました。今年に入

麻疹とワクチン

ながくて北川こどもクリニック 北川 好郎

りインバウンドが多くなるのに伴い、コロナ前とは比較にならない程少ないですが、流行を認めるようになりました。

重症で感染力も強い麻疹ですが、ワクチンを打つことにより排除状態まで持っていける事が証明されております。最も大切なのは定期接種としてすべての子ども達が接種を行う事です。忘れずに接種をお願いいたします。今まで接種していない大人の方も、是非接種をお願いいたします。

「1歳の誕生日にワクチンのプレゼント」、「小学校入学前にランドセルとワクチン」は子どもを守る親の愛情のプレゼントです。